



# 爬虫類

-はちゅうるい-

からだ うろこ

せきつい どうぶつ

体が鱗におおわれた脊椎動物。

ちゅうこうせい

はちゅうるい

おお にっこようく

昼行性の爬虫類の多くは、日光浴で

からだ あたた

かつどう

体を温めてから活動をはじめる。



□ミシシッピアカミミガメ(カメ目ヌマガメ科)  
めうし あか もよう  
目の後ろに赤い模様があるカメ。  
ようひい せんしん あか みどりいろ  
幼体は全身が明るい緑色で、「ミドリガ  
よ きた げんさん がいらいしゅ  
メ」と呼ばれる。北アメリカ原産の外来種。

□クサガメ(カメ目イシガメ科)  
こうら ほん せんじょう もあ  
甲羅に3本の線状の盛り上がり(キール)  
くろ たいしょく  
がある黒っぽい体色のカメ。  
きけん かん くさ だ  
危険を感じると臭いにおいを出す。



MS

□ニホンスッポン(カメ目スッポン科)  
ほか こと こうら  
他のカメと異なるやわらかい甲羅が  
どくちよう ちから つよ はな  
特徴。かみつく力が強く、なかなか離さない  
おお こたい ちゅうい  
ので、大きい個体には注意しよう。

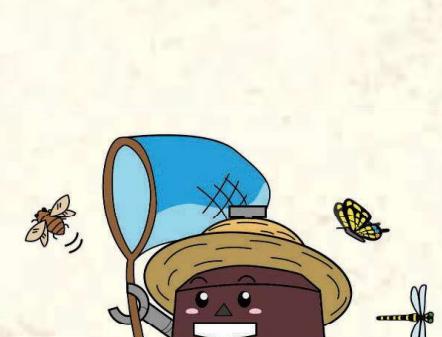
□ニホンヤモリ(トカゲ目ヤモリ科)  
じんか しゅうへん せいそく こんちゅう  
人家の周辺に生息し、昆虫やクモなどを  
た ゆび は こま  
食べる。指にびっしりと生えた細かい毛を使  
つか かべ のほ  
い、壁を登ることができる。



SN

□ニホンカナヘビ(トカゲ目カナヘビ科)  
かわ うろこ なが しづぽ  
ザラザラとした乾いた鱗と長い尻尾が  
とくちよう てき とき しづぽ き はな  
特徴。敵にそわれた時は尻尾を切り離  
に  
し、おとりにして逃げる。

□アオダイショウ(トカゲ目ナミヘビ科)  
じんか しゅうへん せいそく  
人家の周辺にも生息するヘビ。ネズミや  
きのば とくい ひとり す  
カエルのほか、木登りが得意で、鳥の巣  
たまご た どく  
の卵も食べる。毒はもっていない。



□ヒバカリ(トカゲ目ナミヘビ科)  
さいだい ちい くろ  
最大でも60cmほどの小さな黒いヘビ。  
そうちょう ゆうがた かつどう みずべ  
早朝や夕方によく活動し、水辺やその  
じゅうさん くさ み どく  
周辺の草むらで見られる。毒はない。

□ヤマカガシ(トカゲ目ナミヘビ科)  
あか くろ もよう  
赤と黒のまだら模様をしたヘビ。  
うわ おくば ひじう きうりく どく  
上あごの奥に非常に強力な毒をもって  
み さい ちゅうい ひつよう  
いるため、見かけた際には注意が必要。